

 **SkyPDF® Professional 2016**

 **SkyPDF® Standard 2016**

 **SkyPDF® Viewer 2016**

ユーザーマニュアル
(0.はじめにお読みください)

株式会社 スカイコム

分冊構成

ドキュメント名		内容
ユーザーマニュアル	0.はじめにお読みください	システム環境、インストール手順、制限事項など SkyPDF Viewer / Standard / Professional の全てのエディションで共通する注意点について
	1.PDF の閲覧・印刷	PDF ファイルの閲覧や印刷などの機能 SkyPDF Viewer / Standard / Professional の全てのエディションで提供される基本操作について
	2.PDF の作成・編集	PDF ファイルの作成や編集などの機能 SkyPDF Standard / Professional で提供される機能の操作について
	3.高度な編集・加工	有償オプションを含む PDF ファイルの高度な編集機能 SkyPDF Professional でのみ提供される機能の操作について

はじめに

本書は SkyPDF Viewer / Standard / Professional 2016（以下、本製品）の要件となるシステム環境や、インストール手順、制限事項について説明するものです。

本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。

当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。

本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

予めご了承ください。

商標情報

- Microsoft、Windows、Office は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 『一太郎』は株式会社ジャストシステムの登録商標（商標）です。
- 本製品は RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。
- RSA および BSAFE は、米国 EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。
- 本製品は OpenSSL ツールキットを利用するために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

システム環境

以下に示すすべての項目は、ベンダー、メーカーの延長サポート期間に準拠します。例えば、延長サポート期間まで終了した OS は当社製品でもサポート終了となります。ただし、保守契約期間中は当社のサポート規約に準じます。

本製品は、以下の動作環境でご利用ください。

CPU	1GHz 以上（利用する OS の推奨以上）
メモリ	32bit は 1GB、64bit は 2GB 以上（利用する OS の推奨以上）
ディスク空き容量	200MB 以上 ※ PDF 変換時は元ドキュメントのファイルサイズの 3 倍以上の空きが必要
OS	日本語 / 英語 / 中国語（繁体字） / 中国語（簡体字） Microsoft® Windows Vista® (x86) Microsoft® Windows® 7 (x64, x86) Microsoft® Windows® 8.1 (x64, x86) Microsoft® Windows® 10 (x64, x86)
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer® 9 / 10 / 11（利用する OS の推奨に基づく）

ただし、次の点にご注意ください。

- Windows 10 では、OS と異なる言語（日/英/中(繁)/中(簡)）で本製品を使用する場合、表示したい言語の言語パックをインストールする必要があります。
- Windows 10 でのアマノタイムスタンプ付与機能は動作を保証していません。
- SEIKO タイムスタンプ付与機能は、Windows 10 に対応していません。
- 長期署名機能は日本語以外の OS および Windows 8.1 / 10 に対応していません。
- SkyPDF CA EDITION は、日本語以外の OS に対応していません。
- SkyPDF Professional for Legal は、日本語以外の OS および 64bitOS に対応していません。
- タッチ操作機能は Windows Vista では使用できません。
- Microsoft Edge には未対応です。

SkyPDF Pro Driver は、以下のアプリケーション(Windows ストアアプリを除く)に対応しています。

Microsoft®	Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2007 Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2010 Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2013 Office Word® / Excel® / PowerPoint® 2016 Visio® 2007 / 2010 / 2013 / 2016 Internet Explorer® 9 / 10 / 11（利用する OS の推奨に基づく）
その他	一太郎® 2014 / 2015 / 2016

次の点にご注意ください。

- Windows ストアアプリでの動作は保証していません。
- 上記以外でも、印刷機能のあるアプリケーションであれば PDF ファイルを作成することができます。ただし、動作は保証していません。文書の内容やアプリケーションの種類によっては、正常に PDF ファイルを生成できない場合があります。

変換ユーティリティ機能（一括変換機能）が対応している主な拡張子は、以下のとおりです。

文書ファイル	(Office) .doc / .docx / .xls / .xlsx / .ppt / .pptx / .vsd (一太郎) .jtd (テキストファイル) 拡張子は別途設定可
画像ファイル	.jpg / .jpeg / .jpe / .jp2 / .jfif / .bmp / .dib / .gif / .png / .tiff / .tif

目次

分冊構成	2
はじめに	3
システム環境	4
目次	5
用語集	6
1 マニュアルの読み方	7
2 インストール	8
2.1 注意事項	8
2.2 インストール手順	8
2.3 試用版から製品版への変更	16
2.4 インストール中にエラーが発生した場合	19
3 アンインストール	20
3.1 アンインストール手順	20
3.2 手動アンインストール手順	21
4 制限・注意事項	25
4.1 取扱 PDF ファイルに関する事項	25
4.2 インストールに関する事項	25
4.3 PDF ファイルの関連付けに関する事項	26
4.4 ビューアの起動に関する事項	26
4.5 PDF ファイルの作成機能に関する事項	26
4.6 PDF ファイルの表示機能に関する事項	32
4.7 PDF ファイルの編集機能に関する事項	34
4.8 印刷に関する事項	34
4.9 セキュリティ機能に関する事項	35
4.10 表のコピーに関する事項	36
4.11 ページのトリミングに関する事項	36
4.12 署名に関する事項	36
4.13 電子印鑑に関する事項	37
4.14 タイムスタンプに関する事項	37
4.15 タッチ操作機能に関する事項	38
4.16 タブレット端末での表示に関する事項	38
4.17 変換ユーティリティに関する事項	38

用語集

本書における主な用語の定義を説明します。

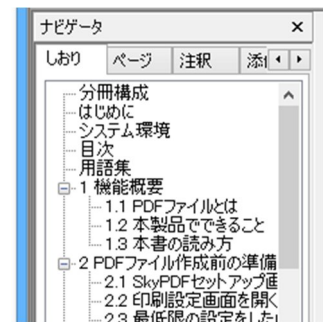
- ※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。


キーワード	解説
コントロールパネル	コンピューターや WindowsOS の各種設定を行うための機能 Windows Vista の場合：[スタート]メニューから Windows 7 の場合：[スタート]メニューから Windows 8.1 / 10 の場合：[スタート]ボタンの右クリックメニューから
プリンタ デバイスとプリンター	OS にインストールされているプリンターの一覧 Windows Vista の場合：コントロールパネルの[プリンタ] それ以外の場合：コントロールパネルの[デバイスとプリンター(の表示)]
ビルトイン Administrator	OS に最初から登録されている「Administrator」という名前のユーザー
SkyPDF Viewer	当社が無償配布している PDF 閲覧ソフト PDF ファイルの閲覧機能のみの提供となり、編集・作成はできない ダウンロードページ： http://www.skycom.jp/free/
SkyPDF Standard	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Viewer が提供する機能に加えて、PDF 作成機能や編集機能を備えている
SkyPDF Professional	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Standard の上位版となり、Standard が提供する機能に加えて、高度な PDF 編集機能を備えている
SkyPDF Pro Driver	本製品(SkyPDF Viewer を除く)が提供する仮想プリンター プリンターに指定して印刷を実行することで、PDF ファイルを作成することができる
環境設定	本製品の各種設定を行うための機能 [ツール]メニューか、あるいはツールバーのアイコンから


1 マニュアルの読み方

- 本書を PDF ビューアでご覧の場合、本書の[目次](#)ページや、しおり機能を利用して、目的のページを参照することができます。

本製品のしおり機能



- 本製品で本書を閲覧している場合、ハイパーリンクやしおりなどでページ移動した後、元のページに戻る際は、ツールバーの (前の画面)を使用すると便利です。
- 本書は各所にハイパーリンクを設定しています。これは、文字をクリックすることで関連ページにジャンプできる機能です。本書では、下線付きの[橙色](#)の文字で表示されます。(例：[目次](#))
- 一般的でない語句や言い回しは、本文中か、用語集に説明を記載しています。
- 本製品のご使用に際して、「動作しない」「不具合かな？」など不明点が生じた場合は、はじめに本製品の制限・注意事項をご参照ください。それでも解決しない場合は、当社ホームページのFAQをご利用ください。(当社ホームページのFAQ：<http://www.skycom.jp/support/faq/>)
- 操作手順は以下のように表記します。

[ツール] - [署名] ()

(丸カッコ内はショートカットボタン)

- “キーボードから「**Ctrl + v**」を入力”などの記載は、キーボードの[Ctrl]キーを押しながら、アルファベットの[v]キーを押す、という動作を表します。

2 インストール

本製品をインストールする際の注意事項と手順、試用版から製品版への変更方法、インストール中にエラーが発生した場合の対処方法などについて説明します。

また、以下は SkyPDF Professional における操作を例とした説明となります。ご使用の製品のエディション (Viewer / Standard / CA EDITION / Professional for Legal) によっては、実際の画面の表示と異なる場合がありますのでご注意ください。

2.1 注意事項

- インストールは、Administrator 権限を持つアカウントで行ってください。
- 以前のバージョンの本製品をご利用の場合、インストール前に必ずアンインストールを行ってください。
- Microsoft Office 製品 (Word、Excel、PowerPoint) が起動していない状態でインストールしてください。Microsoft Office 製品が起動している場合、インストール中に警告メッセージが表示され、インストールが中断します。その際は、Office を終了して再度インストールを開始してください。

2.2 インストール手順

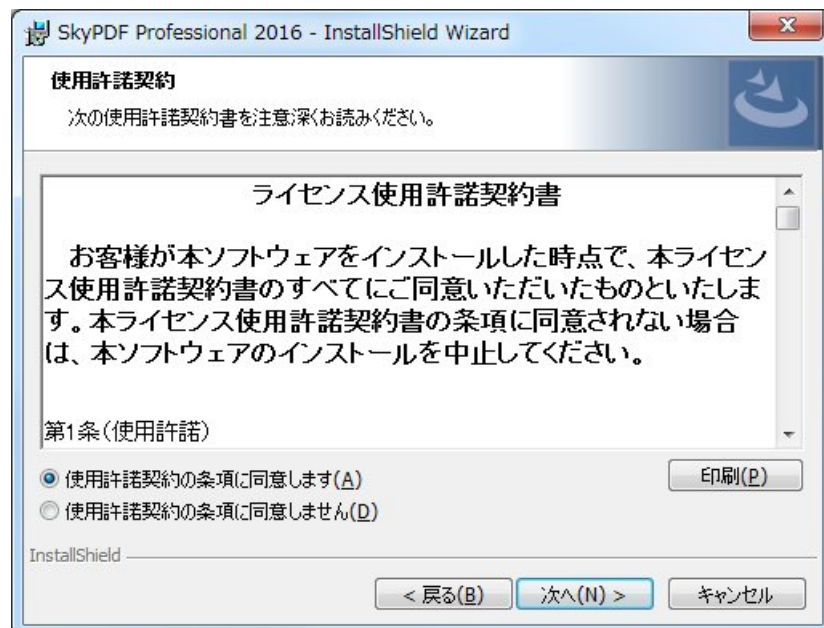
1. CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、セットアップランチャー画面が表示されます。セットアップランチャー画面が表示されない場合、あるいは CD-ROM 以外からインストールする場合は、製品媒体内の「SkyPDF.exe」をダブルクリックしてください。ファイルが圧縮されていたら展開 (解凍) してください。
2. セットアップランチャー画面が表示されたら、チェックボックスで必要なオプション機能をチェックし、左下のプルダウンメニューでインストールする製品の言語を選択後、[インストール開始]を押します。



3. ようこそ画面では、[次へ]を押します。



4. 使用許諾契約画面では、「ライセンス使用許諾契約書」の内容をよく読んだ後、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]を押します。



5. ユーザー情報画面では、ユーザー名、会社名、シリアル No.を入力し、[次へ]を押します。

The screenshot shows the 'SkyPDF Professional 2016 - InstallShield Wizard' window. The title bar includes the SkyPDF logo and the text 'SkyPDF Professional 2016 - InstallShield Wizard'. The window has a standard Windows XP-style interface with a close button (X) in the top right corner. The main content area is titled 'ユーザー情報' (User Information) and contains the instruction '情報を入力してください。' (Please enter the information.). Below this, there are three input fields: 'ユーザー名(U):' (User Name), '会社名(C):' (Company Name), and 'シリアルNo(S):' (Serial Number). Each field is followed by a red asterisk and the word '必須' (Required). The serial number field is divided into three segments by hyphens. Below the input fields, a red note states: '※大文字・小文字を区別して、一字ずつ入力してください。' (Please distinguish between uppercase and lowercase letters and enter one character at a time.). At the bottom of the window, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The 'InstallShield' logo is visible in the bottom left corner.

シリアル No.について

シリアル No.は、本製品に同梱されている「ライセンス・ユーザー証書」に記載されています（図 1）。

CD-ROM 以外からインストールする場合、案内メールの添付ファイルなどに記載されているシリアル No.をご確認ください。

シリアル No.を入力しなくても[次へ]で進むことができますが、製品版ではなく 30 日間試用版としてインストールされます。試用版では、PDF ファイルの保存時に「Trial」のすかしが入ります（図 2）。そのまま 30 日以内に製品版に移行しなかった場合、SkyPDF Viewer として動作するようになり、PDF ファイルの編集・作成はできなくなります。

図 1

The document is titled 'ライセンス・ユーザー証書' (License and User Certificate). It contains the following text: '株式会社スカイコムは、本書記載のお客様に対して、「ライセンス使用許諾契約書」及びこのライセンス・ユーザー証書により、本書記載のソフトウェアを本書記載の条件並びに環境において使用する権利を許諾致します。本証書をライセンス使用許諾契約書とともに大切に保管下さいますようお願い致します。尚、使用許諾に関する条件は、ライセンス使用許諾契約書に記載されております。必ずお読み頂きますようお願い致します。' Below this text is a table with three columns: '対象ソフトウェア名' (Target Software Name), '許諾シリアルNo.' (Licensed Serial No.), and '許諾ライセンス数' (Licensed Number of Licenses). The first row shows 'SkyPDF Professional 2016' in the first column, and '123456 - 7890 - 1234567890123' in the second column. The serial number is highlighted with a red box and labeled 'シリアル No.' in red text. Below the table, there is a note in a dashed box: '【ご注意】 アルファベットは大文字半角で、-（ハイフン）抜きでご入力ください。シリアルNo.には数字の1と0は使用していません。I はアイ、O はオーです。' At the bottom, there are fields for '【お客様】' (Customer) with '名称' (Name) and '所在地' (Location) labels, and a '【特記事項】' (Remarks) field.

図 2

The screenshot shows the 'Windows プリンターテストページ' (Windows Printer Test Page) for 'SkyPDF Pro Driver'. The page displays various system and driver information, including the driver name 'SkyPDF Pro Driver', version '1.0.0.0', and the driver file path 'C:\Windows\system32\spool\DRIVERS\64\J3KYPDFPRO.DLL'. A large, diagonal 'Trial' watermark is overlaid across the entire page. At the bottom, there is a 'Sky PDF 試用版' (Sky PDF Trial Version) label and a URL 'http://www.skycom.jp/'.

6. ファイル種類情報画面では、PDF ファイルを表示するアプリケーションとして本製品を使用するかどうかを選択し、[次へ]を押します。この設定は[環境設定]の[関連付け]タブからいつでも変更することができます。

1. [SkyPDF (エディション) 2016 を使用する]

PDF ファイルを開くと、本製品が起動し PDF ファイルを表示します。また、PDF ファイルのアイコンが SkyPDF 専用アイコンに変わります。

[SkyPDF (エディション) 2016 を使用しない]

現在の設定が維持されます。

2. [Web で SkyPDF (エディション) 2016 を使用する]

インターネット上の PDF ファイルを開くと、Internet Explorer 上で本製品が起動し PDF ファイルを表示します。

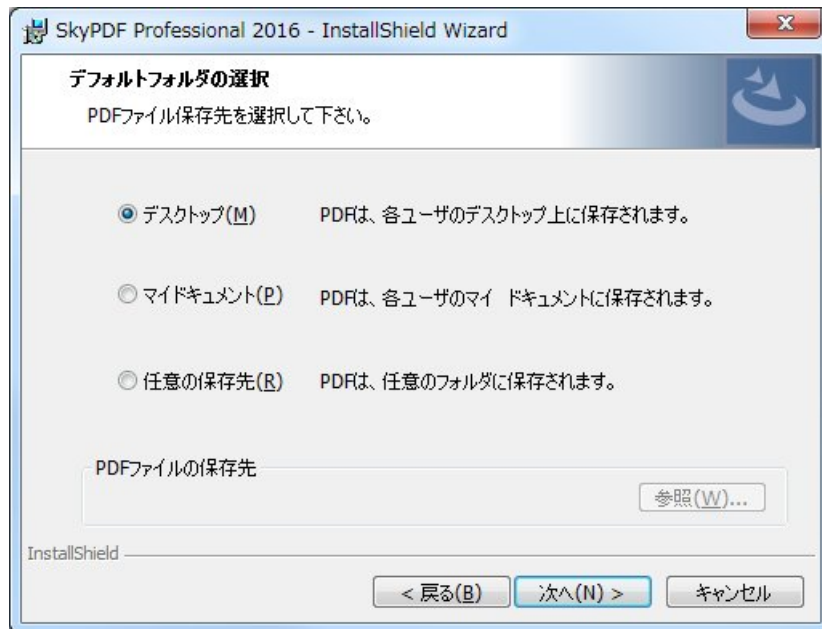
[Web で SkyPDF (エディション) 2016 を使用しない]

現在の設定が維持されます。

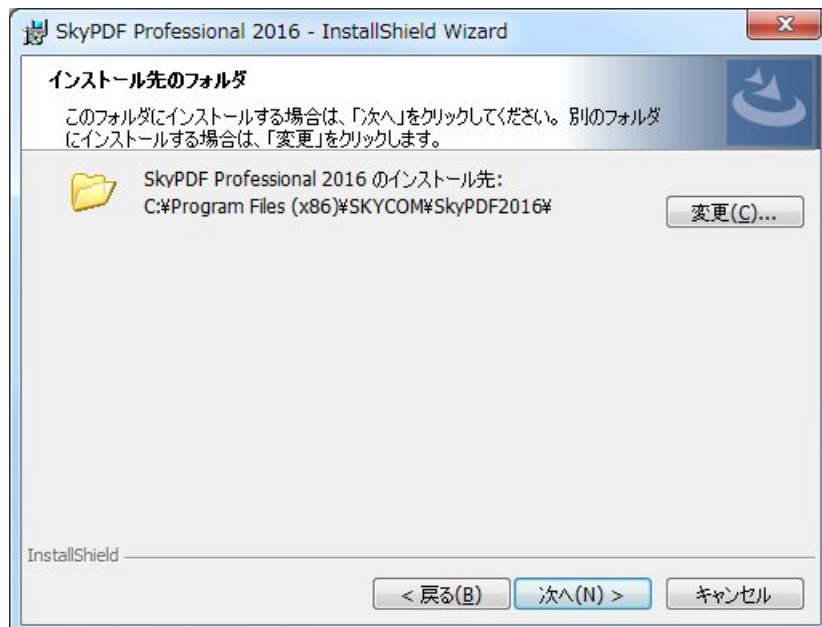


7. デフォルトフォルダの選択画面では、SkyPDF Pro Driver で作成した PDF ファイルの保存先を選択し、[次へ]を押します。

SkyPDF Pro Driver が「保存先を指定する」設定になっていない場合、ここで指定したフォルダに保存されます。この保存先フォルダは、SkyPDF Pro Driver の設定からいつでも変更することができます。



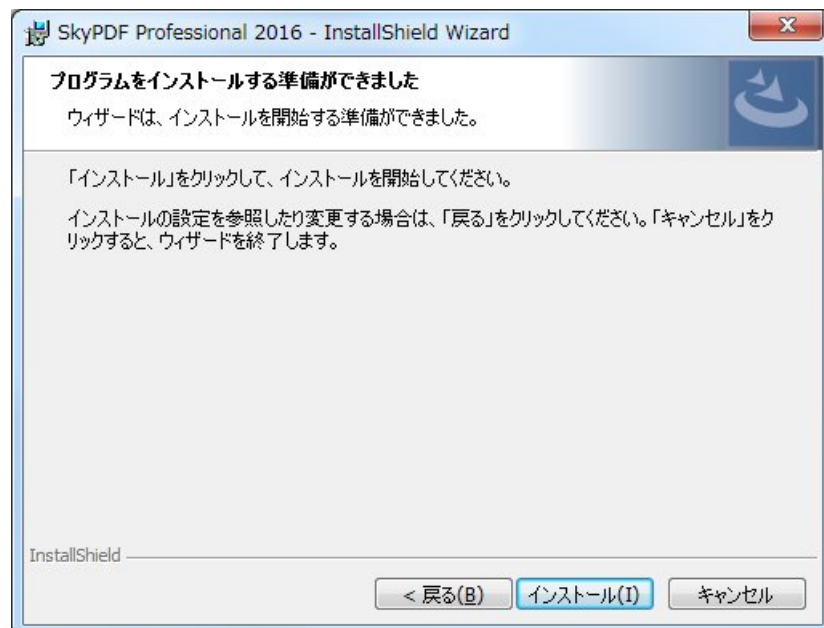
8. インストール先のフォルダ画面では、必要に応じて[変更]からインストール先のフォルダを変更し、[次へ]を押します。



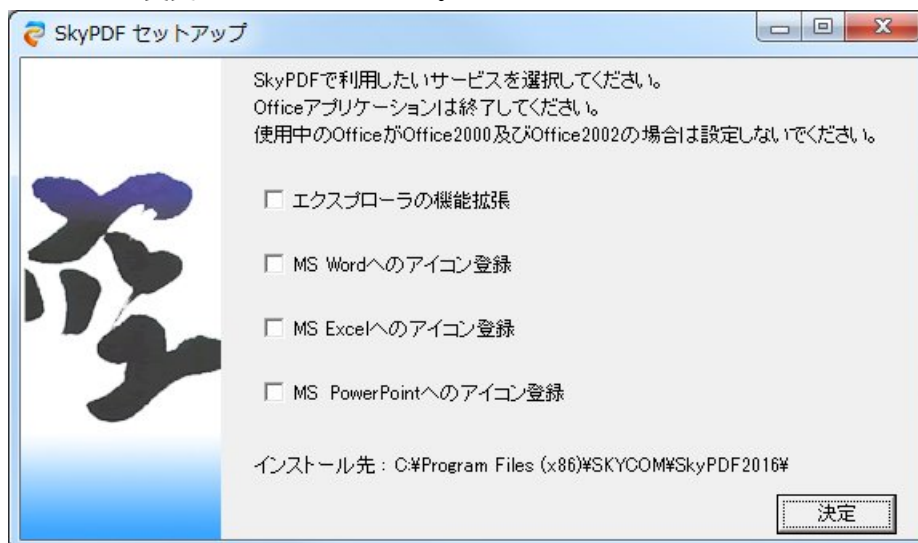
9. 設定確認画面では、設定内容を確認して[次へ]を押します。



10. [インストール]を押します。



11. SkyPDF セットアップ画面が表示されます。利用したいサービスを選択し、[決定]を押します。
この設定はいつでも変更することができます。



3. エクスプローラの機能拡張

右クリックメニューに[Convert to SkyPDF]コマンドを追加します。PDF 変換に対応したファイルを、右クリックメニューから PDF ファイルに変換できるようになります。

4. MS Word / Excel / PowerPoint へのアイコン登録

Microsoft Office Word、Excel、PowerPoint に、PDF ファイルを生成するためのツールボタンを組み込みます。この設定によって、各アプリケーションからワンクリックで PDF ファイルを生成できるようになります。

- ※ Microsoft Office がインストールされていない場合、[エクスプローラの機能拡張]以外の設定はチェックを入れていても反映されません。

12. [完了]を押します。



13. 最後にもう一度セットアップランチャー画面が表示されます。[終了]ボタンを押して終了してください。



14. 上記 1～13 の手順でインストールが完了したら、デスクトップに追加されたショートカットアイコンなどから、本製品を起動することができます。

2.3 試用版から製品版への変更

無償版である SkyPDF Viewer を除き、試用版は、シリアル No.*を入力すればいつでも製品版に変更することができます。

シリアル No.を入力した際、「製品版への変更を行うには管理者権限が必要です」というメッセージが表示された場合は、Administrator 権限を持つアカウントでログインし直し、実行してください。

以下の 2 通りの方法のうち、いずれかの方法で入力してください。

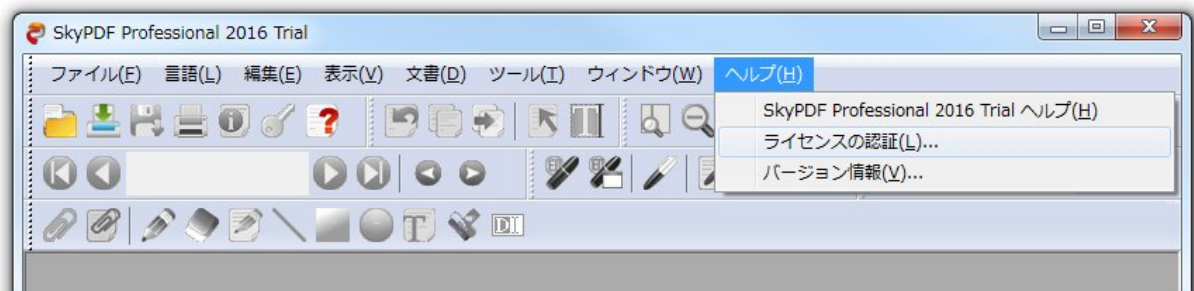
※ シリアル No.は製品版ご購入の後、ご案内します。販売会社へご連絡ください。

2.3.1 PDF ビューアから変更する方法

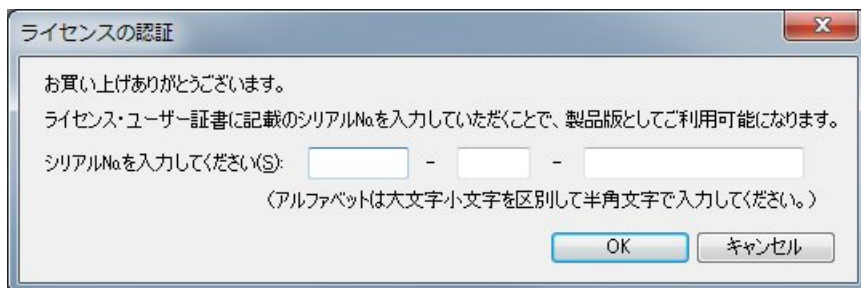
1. デスクトップのショートカットなどから本製品を起動します。



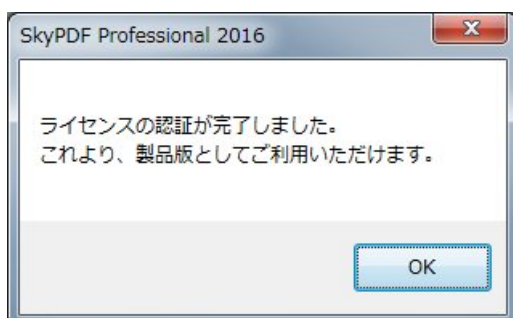
2. [ヘルプ]メニューの[ライセンスの認証]を選択します。
PDF ファイル表示中は選択できません。



3. ライセンスの認証ダイアログにシリアル No.を入力し、[OK]を押します。



4. 登録完了のメッセージが表示されたら[OK]を押して完了です。

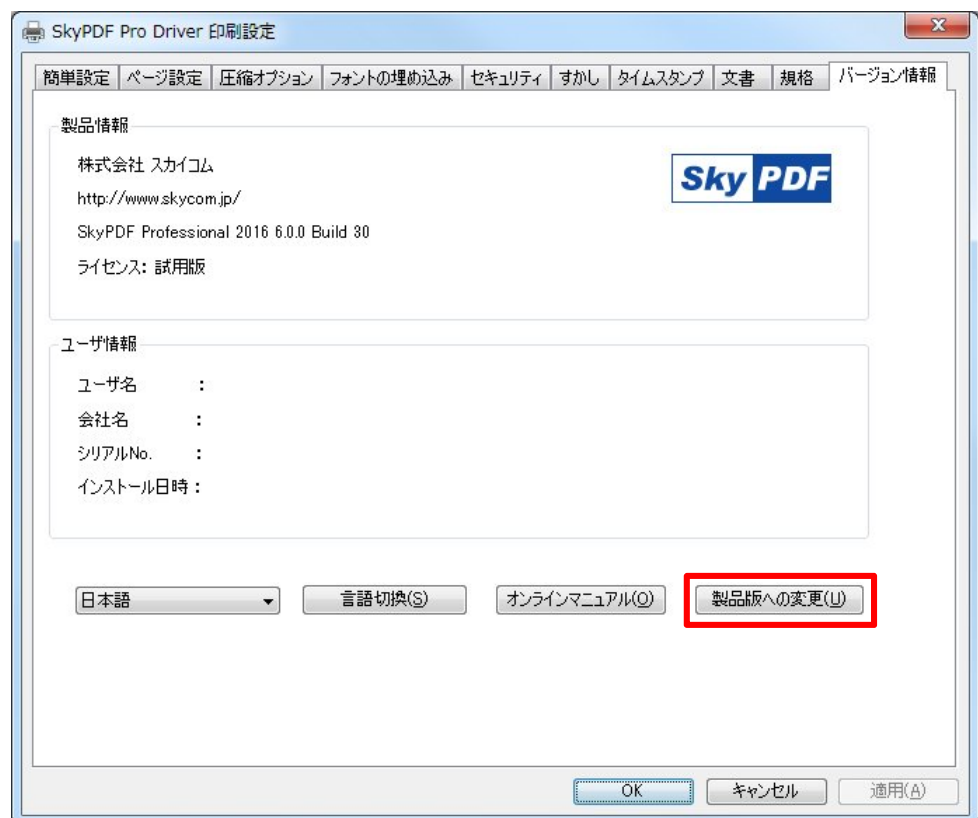


2.3.2 印刷設定から変更する方法

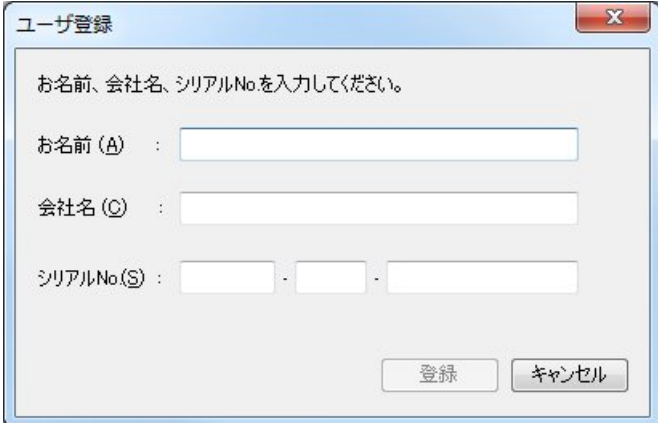
1. 「プリンタ」または「デバイスとプリンター」画面を表示します。（表示手順：[用語集](#)）
2. 「プリンタ」または「デバイスとプリンター」画面で、[SkyPDF Pro Driver]を右クリックし、[印刷設定]を選択します。



3. 「SkyPDF Pro Driver 印刷設定」画面の[バージョン情報]タブを選択し、[製品版への変更]ボタンを押します。



4. ユーザ登録画面が表示されたら、[お名前]、[会社名]、[シリアル No.]を入力し、[登録]を押します。



ユーザ登録

お名前、会社名、シリアルNoを入力してください。

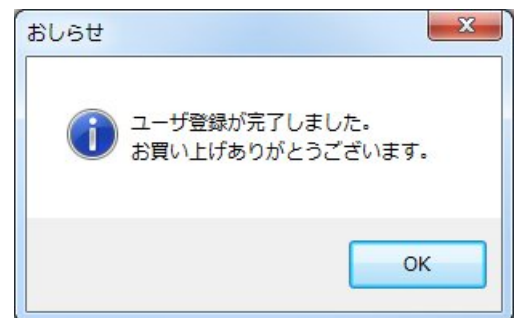
お名前 (A) :

会社名 (C) :

シリアルNo (S) : . .

登録 キャンセル

5. 登録完了のメッセージが表示されたら[OK]を押して完了です。



2.4 インストール中にエラーが発生した場合

インストール中に以下のメッセージが表示されインストールに失敗した場合、次の手順に従って作業を行います。

(C:¥Windows¥System32¥Wbem)がシステム環境変数に設定されていないためインストールが続行できません。
設定方法については『ユーザーマニュアル』または『readme_jp.txt』を参照してください。

1. [コントロールパネル]－[システム]－[システムの詳細設定]－[詳細設定]タブ－[環境変数]の手順で、環境変数画面を表示します。
2. 「システム環境変数」の変数「Path」を選択し、[編集]を押します。
3. [変数値]フィールドで[End]キーを押し、テキストの末尾にカーソルを移動させます。
4. 「;」(セミコロン)に続けて「%SystemRoot%¥System32¥Wbem」と入力します。
(例) 入力前「C:¥Windows」
入力後「C:¥Windows;%SystemRoot%¥System32¥Wbem」
5. システム変数の編集画面の[OK]－環境変数画面の[OK]－システムのプロパティ画面の[OK]を押します。
6. コンピューターを再起動します。
7. コンピューターが起動したら、再度インストールを実施してください。

3 アンインストール

本製品をコンピューターから削除する方法について説明します。

3.1 アンインストール手順

通常は、以下の手順でアンインストールします。

1. 「コントロールパネル」を開きます。
2. [プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を選択します。
3. 一覧の中から本製品名を選択し、Windows Vista の場合は[アンインストールと変更]、それ以外の場合は[アンインストール]を押します。
4. 削除確認のメッセージが表示されたら、[はい]や[続行]を押してアンインストールを実行します。

3.2 手動アンインストール手順

アンインストールに失敗すると、まれに、通常の手順では正常なアンインストールができなくなることがあります。その場合は、次の順に手動で本製品関連ファイルを削除する必要があります。

- STEP1 レジストリの削除
- STEP2 ポートとドライバーの削除
- STEP3 モニターファイルとスプールファイルの削除
- STEP4 通常のアンインストール
- STEP5 その他のファイルの削除

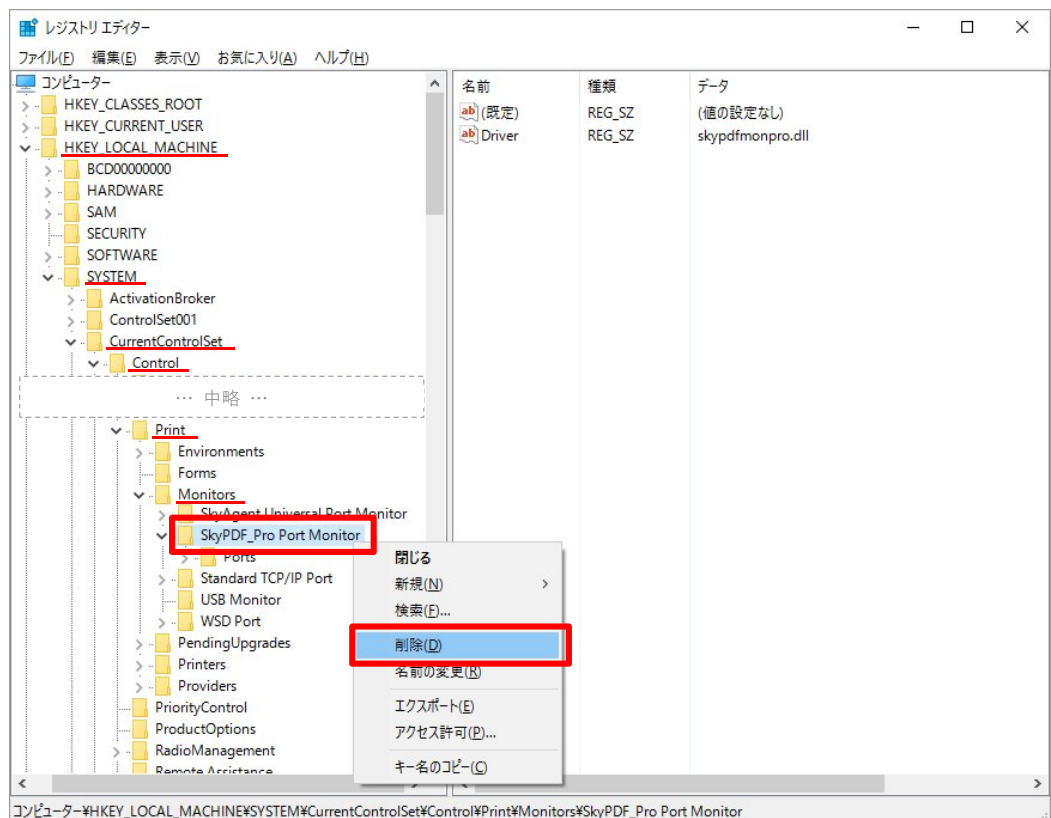
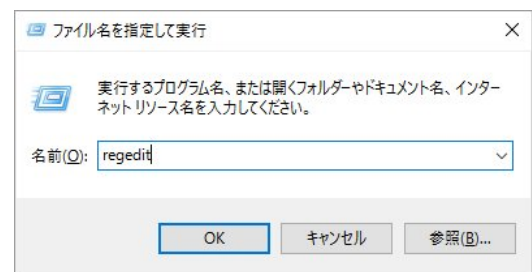
以下に示す各手順の詳細を確認し、手順通りに削除してください。

3.2.1 レジストリの削除

レジストリ エディターを使用して、以下に示すレジストリを削除します。

レジストリは、誤って変更・削除すると、OS に重大な影響を与える可能性があります。慎重に操作してください。

1. 「Windows キー + R」を押して「ファイル名を指定して実行」ダイアログを表示します。
2. [名前]に“regedit”と入力します。
3. [OK]を押して、レジストリ エディターを開きます。
4. 「HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Print\Monitors」配下にある「SkyPDF_Pro Port Monitor」を、右クリックメニューから削除します。



3.2.2 ポートとドライバーの削除

本製品がインストール時に追加したポートとドライバーを削除します。

1. [コントロールパネル]を開きます。
2. [プリンタ]または[デバイスとプリンター(の表示)]を選択します。
3. プリントサーバーのプロパティを開きます。

- **Windows Vista の場合**

「プリンタ」画面内の余白を右クリック－[管理者として実行]－[サーバーのプロパティ]

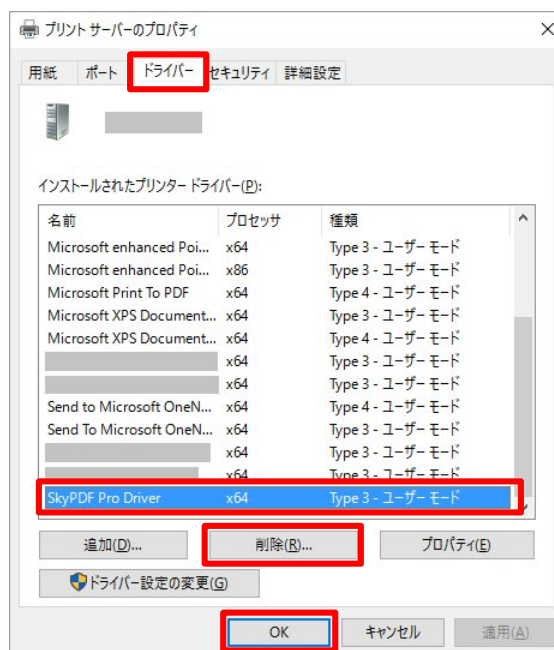
- **Windows Vista 以外の場合**

「デバイスとプリンター」画面のプリンターをどれか一つ選択すると、画面上部に表示される[プリント サーバー プロパティ]

4. [ポート]タブを開きます。
5. 「SkyPDF_ProPort」を選択します。
6. [ポートの削除]を押して、「SkyPDF_ProPort」を削除します。



7. [ドライバー]タブを開きます。
8. 「SkyPDF Pro Driver」を選択します。
9. [削除]を押して、「SkyPDF Pro Driver」を削除します。
10. [OK]を押して終了します。



3.2.3 モニターファイルとスプールファイルの削除

プリントスプーラーを停止し、モニターファイルとスプールファイルを削除します。

1. どのプリンターも印刷中ではないことを確認します。
2. [コントロールパネル] (–[システムとメンテナンス]または[システムとセキュリティ]) –[管理ツール]の順に選択し、管理ツールの一つである[サービス]を開きます。
3. サービス画面で[Print Spooler]を選択し、[サービスの停止]を押します。
4. エクスプローラーを開き、次の2つのモニターファイルを削除します。
C:¥Windows¥System32¥skypdfmonpro.dll
C:¥Windows¥System32¥skypdfmonuipro.dll
5. 同じくエクスプローラーで、「C:¥Windows¥System32¥spool¥PRINTERS」フォルダーにスプールファイルが残っていないか確認します。
印刷処理中でない限り、通常はこのフォルダー内にファイルは何もありません。もし何らかのファイルが残っていたらすべて削除します。
6. サービス画面に戻り、手順3で停止した[Print Spooler]を選択し、[サービスの開始]を押して開始します。
7. OSの再起動を行います。

3.2.4 通常のアンインストール

STEP1～3完了後、通常の手順（参照：[3.1 アンインストール手順](#)）でアンインストールを行います。それでも正常にアンインストールできなかった場合は、STEP5を実施してください。

3.2.5 その他のファイルの削除

STEP4で正常にアンインストールできなかった場合、以下に示す本製品のファイルやレジストリをすべて手動で削除します。

1. ドライバーファイルの削除
32bitOSの場合は「C:¥Windows¥System32¥spool¥drivers¥w32x86¥3」フォルダー内にあり、
64bitOSの場合は「C:¥Windows¥System32¥spool¥drivers¥x64¥3」フォルダー内にある、次の5つのファイルを削除します。
 - SKYPDFPRO.chm
 - SKYPDFPRO.CNT
 - SKYPDFPRO.DLL
 - SKYPDFPRO.PCD
 - SKYPDFUIPRO.DLL

2. ターゲットフォルダの削除

32bitOS の場合は「C:\Program Files\SkyCOM\SkyPDF2016」を、
64bitOS の場合は「C:\Program Files (x86)\SkyCOM\SkyPDF2016」を、フォルダーごと削除します。

※ インストール時、ターゲットフォルダーを任意に指定した場合は、指定したフォルダーを削除してください。

3. レジストリの削除

レジストリ エディターを使用して、以下に示すレジストリを削除します。

レジストリは、誤って変更・削除すると、OS に重大な影響を与える可能性があります。慎重に操作してください。

① レジストリエディターを開きます。（参照：[3.2.1 レジストリの削除](#) 手順 1 ～ 3）

② 以下のレジストリ 4 つを削除します。

- HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Skycom\SkyPDF
- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\SkyCom\SkyPDF
- HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Print\Printers\SkyPDF Pro Driver
- **SkyPDF Professional 2016 の場合**
 - 32bitOS : HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Uninstall\{CEAEC558-C14D-4CCD-8D3E-D6B165C1ED0E}
 - 64bitOS : HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Uninstall\{CEAEC558-C14D-4CCD-8D3E-D6B165C1ED0E}
- **SkyPDF Standard 2016 の場合**
 - 32bitOS : HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Uninstall\{039EF1AE-6643-4D28-9232-D8893565478A}
 - 64bitOS : HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Uninstall\{039EF1AE-6643-4D28-9232-D8893565478A}

4. OS の再起動

すべての削除が完了したら、OS を再起動します。

4 制限・注意事項

本製品のご利用に際し、以下の制限事項・注意事項にご注意ください。

4.1 取扱 PDF ファイルに関する事項

PDF の技術仕様（ISO32000-1）に準拠し、最大 400,000 ページかつファイルサイズ 4GB までが、本製品で表示可能な PDF ファイルの目安になります。

PDF 技術仕様に準拠していない PDF ファイルは、扱うことができない場合があります。また、PDF 技術仕様範囲内の PDF ファイルであっても、本書に記載した制限、サポート外の使用環境、文書依存などの要因により、表示や操作に問題が発生する場合があります。

4.2 インストールに関する事項

1. SkyPDF Viewer 1.x～3.x がインストールされている状態で本製品のインストールを実行すると、「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」に SkyPDF Viewer が残ったまま、削除できなくなります。
本製品は、SkyPDF Viewer をアンインストールしてから、インストールしてください。

2. リムーバブルメディア（DVD や USB メモリ等）からアップデートインストールをしようとする
と、「ディスク 1 を挿入してください」のメッセージが表示され、インストールできない場合があります。

[対処]

インストール済みの本製品をアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

3. アップグレードインストールの際は、SkyPDF Pro Driver の設定は引き継がれません。アップグレードインストール実行後、再度設定してください。
4. 本製品をアンインストールし、再度インストールを実施した場合、PDF ファイルが開けないなど動作が不安定になる場合があります。以下を参考に対処してください。

[考えられる原因]

アンインストール時にファイルが完全に削除されていない可能性があります。

[対処]

本製品を終了させた状態で、タスクマネージャーの[プロセス]タブを開きます。「SPViewer.exe」が残っている場合は、すべて[プロセスの終了]で強制終了してください。アンインストールを実施し、インストールフォルダにファイルが残留している場合は、すべて手動で削除してください。その後、再度インストールを実行してください。

5. Administrators グループに所属するユーザーを含め、ビルトイン Administrator 以外のユーザーで修復インストールを実行すると失敗する場合があります。インストール・修復インストールは、ビルトイン Administrator ユーザーで実行してください。
6. 「MS UI Gothic」フォントがない英語 OS を使用する場合、SkyPDF Pro Driver の印刷設定画面上の文字が大きくなり、一部表示が枠外に消えてしまいます。「MS UI Gothic」フォントをインストールするか、Microsoft Office をインストールすることで回避できます。

4.3 PDF ファイルの関連付けに関する事項

1. Windows 8.1 / 10 では、本製品の[ツール]－[環境設定]－[関連付け]タブからは関連付けの復元ができません。[既定のプログラムの選択]画面内の PDF ファイルの関連付け設定から PDF 表示ソフトを選択してください。
2. Windows 8.1 / 10 では、インストール時または本製品の[環境設定]から関連付けを行った場合、[既定のプログラムの選択]画面のアプリケーション一覧に「マイクロソフトリーダー」が表示されません。本製品の関連付けを解除すると、再度表示されるようになります。
3. Windows 8.1 / 10 では、インストール時または本製品の[ツール]－[環境設定]－[関連付け]タブで、2つのチェック項目のうち[SkyPDF Viewer を使用する]にのみチェックが入っている場合、Internet Explorer で PDF ファイルを開こうとすると、Internet Explorer とは別ウインドウで本製品が起動します。
4. Windows 8.1 / 10 では、ユーザーを後から追加した場合、そのユーザーではログインして 3 分後に関連付けされます。
5. Windows 8.1 / 10 では、自動で Windows Update の処理が起動すると、関連付けが外れてしまいます。重要な更新プログラムを[更新プログラムを確認しない（推奨されません）]に設定しない限り、この事象となります。
6. 64 ビット版の Internet Explorer では、Embedded タグを使用して Internet Explorer 上で本製品を起動する機能には対応していません。
7. SkyPDF Pro で PDF 生成後、次のような場合は、関連付けされていないアプリケーションで PDF を開くことがあります。
 - a. 本製品で関連付けした後、Adobe Reader/Acrobat の修復機能で関連付けを戻した場合
 - b. 本製品で関連付けした後、Windows の機能で、他のアプリケーションに関連付けを変更した場合

4.4 ビューアの起動に関する事項

1. 本製品が正常に起動し終わらないうちに連続で起動するなどといった不正な操作を行った場合、PDF ファイルが開けなくなるなど、動作が不安定になる場合があります。

[対処]

本製品を終了させた状態で、タスクマネージャーの[プロセス]タブを表示させ、SPViewer.exe が残留している場合は、[プロセスの終了]ですべての SPViewer.exe を強制終了してください。

4.5 PDF ファイルの作成機能に関する事項

1. Windows 8.1 / 10 のスタート画面（ストアアプリ画面）から起動した Internet Explorer で、SkyPDF Pro Driver をプリンターに指定して印刷（PDF 化）しても、処理が無反応もしくは停止したような状態になります。

2. Windows ストアアプリからの PDF ファイル作成は、動作を保証していません。そのため、ストアアプリから SkyPDF Pro Driver をプリンターに指定して印刷（PDF 化）する際、SkyPDF Pro Driver を直接印刷設定※にしていると PDF ファイルが作成できない、などの問題が発生する場合があります。

※ 「デバイスとプリンター」画面の[SkyPDF Pro Driver]右クリック→[プリンターのプロパティ]→[詳細設定]タブ→[プリンターに直接印刷データを送る]

[対処]

直接印刷設定をスプール印刷設定に変更することで、印刷されないという事象は回避できます。

3. Standard 版のみ、画像ファイルをデスクトップアイコンにドラッグアンドドロップすると、無反応状態になります。

[対処]

画像ファイルの関連付けを[フォト]ではなく、[フォトビューアー]または[ペイント]に変更してください。

4. 外字領域で文字が割り当てられていない文字コードが使われている時、PDF/A 変換できない場合があります。（PDF/A でない変換であれば可能）

5. SkyPDF Pro Driver の「フォントの埋め込み」設定で Type1 フォントを設定し、そのフォントを使用して作成された文書を PDF に変換した場合、アプリケーションによっては、その PDF を開くとエラーメッセージが表示されたり、Type1 フォント部分を空白で表示したり、などといった意図しない表示となる可能性があります。

[対処]

次のうちいずれかの対処策を行ってください。

- a. Type1 フォントを利用する際は、フォントの埋め込みを行わない。

※1. ただし、埋め込みを行わないため、PDF ファイルを開く環境に該当フォントがインストールされていない場合、代替フォントで表示される可能性があります

- b. Type1 フォントを他のフォントに変更する

- c. 本製品で PDF ファイルを開く

6. SkyPDF Pro Driver の「ページ設定」について

「空白ページを除去する」場合

- a. Microsoft Office PowerPointでは、空白ページがあっても除去されません。

- b. Microsoft Office Word(※)では「挿入(I)」→「改ページ(B)…」で作成される空白ページのみ除去されます。（Enterキーを押して作成した空白ページは除去されません）

※ Microsoft Office Word 2007/2010/2013では空白ページ作成時（「挿入」→「空白のページ」）に必ず改行文字が入る仕様のため除去されません。

「サムネイル画像を埋め込む」場合

製品仕様上、1200dpi を限界値としています。

7. SkyPDF Pro Driver の「文書」設定について

Justsystem一太郎の場合

e-mail アドレスの直前に文字と空白が有る場合、空白が無視され、文字とアドレスがハイパーリ

ンクとして認識されます。

この部分の空白が無視される

例：e-mail ii-help@skycom.co.jp の場合、"ii-help@skycom.co.jp" でなく、
"e-mailii-help@skycom.co.jp" となってしまいます。

Microsoft Office Visio の場合

Microsoft Office Visio は文字データが分割されて扱われるため、PDF 作成時にハイパーリンク文字列が認識出来ません。ただし、他アプリ（Word 等）からの貼り付けであれば、ハイパーリンクが付与できます。

※ 各項目のフォントの条件を満たす必要があります

Microsoft Office Excel および PowerPoint の場合

特殊記号が別のフォント扱いになるため、通常文字と特殊記号が別々の文字列になり、ハイパーリンク文字列として認識されません。

例：特殊なフォント一覧

Estrangelo Edessa, Gautami, Latha, Mangal, Raavi, Shruti, Tunga

全般

- a. ハイパーリンク対象文字列の中に、下記の文字が含まれていると、それ以降がハイパーリンク文字列化されません。

(^ ¥ | ‘ “

例：http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx
を PDF 化した場合、
http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418
までがハイパーリンク文字列となります。

- b. ハイパーリンク対象文字列は 1 行のみです。複数行に渡る場合は、Office アドインツールボタンの [bookmark PDF] ボタンで生成してください。

8. アプリケーションや環境によって、適用される圧縮オプションの方式が異なる場合があります。例えば、「ペイント」で同一の TIFF 画像を PDF 作成しても、32 ビット OS では「白黒画像」の設定が有効になり、64 ビット OS では「カラー／グレースケール画像」が有効になる場合があります。
9. Internet Explorer で Web ページを PDF 生成する場合、生成時の保存先ダイアログをキャンセルすると、エラーメッセージが表示されますが、これは Internet Explorer におけるマイクロソフト社の既知の問題です。エラーメッセージ表示はそのまま終了させてください。
10. Internet Explorer から Web ページなどを PDF 生成する場合、次の条件が揃った場合のみ、エラーメッセージが表示されず、PDF 生成も行われません。

[条件]

- ・ 32 ビット OS で保護モードが設定されている場合
- ・ [Web 表示用に最適化] を [ページ設定] タブで設定している場合

[対処]

Standard 版の場合、保護モードを解除して PDF 生成してください。

Professional 版の場合、一旦「Web 表示用に最適化」を設定せずに PDF 生成し、Professional 版のビューアで開いて、環境設定の「ページ設定」内の「Web ページ用に最適化」をチェックして「名前を付けて保存」をします。

11. PDF/A 変換をした PDF では、元から埋め込まれているフォントに設定されている CIDSet に不備がある場合、Adobe Acrobat XI のプリフライトが一部正常に実施されない場合があります。
12. 文書内リンクなどのオブジェクトが大量にある文書の場合、Web 最適化にして保存する処理が終了しない場合があります。
13. 文字にリンクを追加する場合、次のような操作でリンクが機能しないことがあります。
 - a. 複数ページ文書の特定ページの文字に、指定ページへジャンプするリンクを追加します。
 - b. 上記 a でリンク追加した部分とは別のページに、同様に、指定ページへジャンプするリンクを文字に追加します。
 - c. 上記 a でリンク追加した部分に戻ると、リンクのポップアップが“ページ-1”と表示され、プロパティでも指定ページ欄が空白になります。
 - d. そのまま文書を保存すれば正常に a のリンクが機能します。単ページ文書や、a と同ページに追加するリンクでは発生しません
14. 動作保証アプリケーション
動作保証アプリケーションの場合でも、レイアウトやファイルサイズなどの条件により、稀に PDF の精度が損なわれる場合があります。

Microsoft Office Visio の場合

Microsoft Office Visio の Bold（太字）、Italic（斜体）、ItalicBold（太字斜体）文字が PDF 化した場合にテキストではなく、グラフィックとして認識されて PDF 変換される場合があります。また、標準字体でもグラフィックとして認識される場合（以下の例を参照）があります。

例：Microsoft Office Visio では“MS P ゴシック”のフォントの標準字体の場合、印刷解像度

300dpi 以下では文字は全てグラフィックとして認識されます。また、印刷解像度 600dpi ではフォントサイズが 86pt 以上、1200dpi では 43pt 以上、2400dpi では 22pt 以上の文字は全てグラフィックとして認識されます。

※ 動作保証しているアプリケーションにて不具合が発生した場合、弊社カスタマサポートまでメール（e-mail:cs@skycom.jp）でお問い合わせください。今後の改善課題の参考とし調査いたします。また併せて、不具合のサンプルファイルを添付してください。

15. Microsoft Office Visio の仕様のため、印刷設定で用紙の向きを変更しても反映されません。
16. Microsoft Office の「Bookmark PDF」ボタンでの PDF 生成において、ハイパーリンクの付与された図形が存在する文書には対応しておりません。しおりやリンクの生成に失敗します。
17. Microsoft Office Word 2007 からの PDF 生成にて PDF のファイル名に半角括弧文字「()」を使用し

た場合、Word の仕様によりアンダースコア「_」に変換されます。

Microsoft 参考 URL : <http://support.microsoft.com/kb/944002/ja>

18. Microsoft Office の PDF 品質について

Microsoft Office（以後 Office と記述）で PDF 作成をすると、表示品質が問題になることがあります。Office の高画質な印刷設定により回避できることがあります。Office に関する印刷設定の詳細については、Microsoft の情報サイト（※1）をご確認ください。

回避策として、Office の印刷に関する設定変更を推奨します。例えば、以下サンプル（※2）の赤矢印で示したオブジェクトのように、推奨設定で作成すると描写精度が向上することがあります。



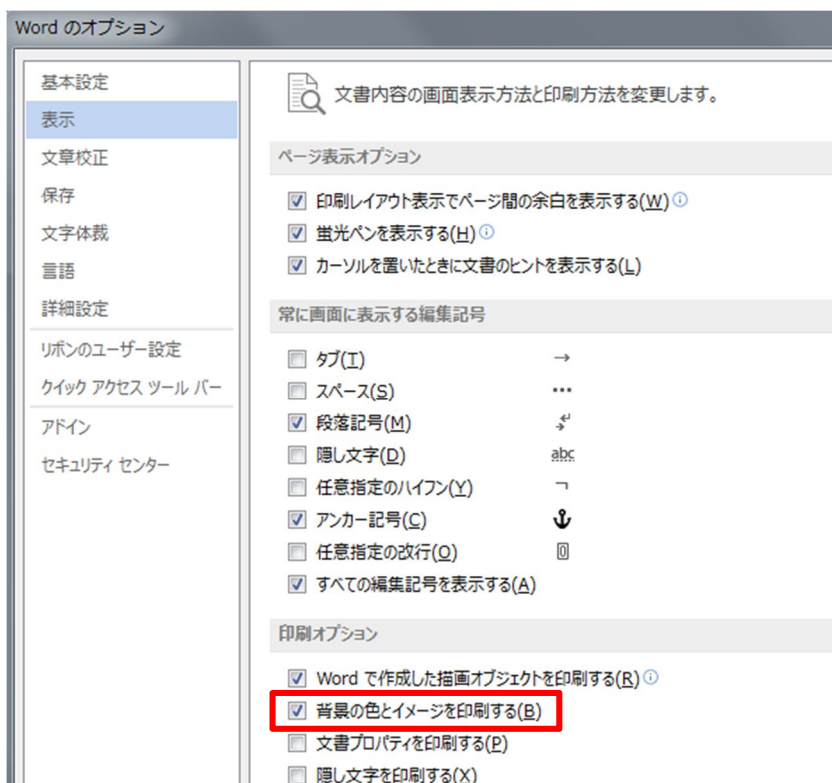
※1 : MSDN印刷の概要 : [http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418\(VS.80\).aspx](http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx)

※2 : 出展 : <http://download.microsoft.com/documents/uk/technet/postevent/01-05-2007/MicrosoftForefrontAndSystemCenter.pptx>

ただし、推奨設定の場合、標準設定で作成される PDF より**データサイズが大きくなる**傾向がありますので、用途に合わせて、次の推奨設定をお試しください。

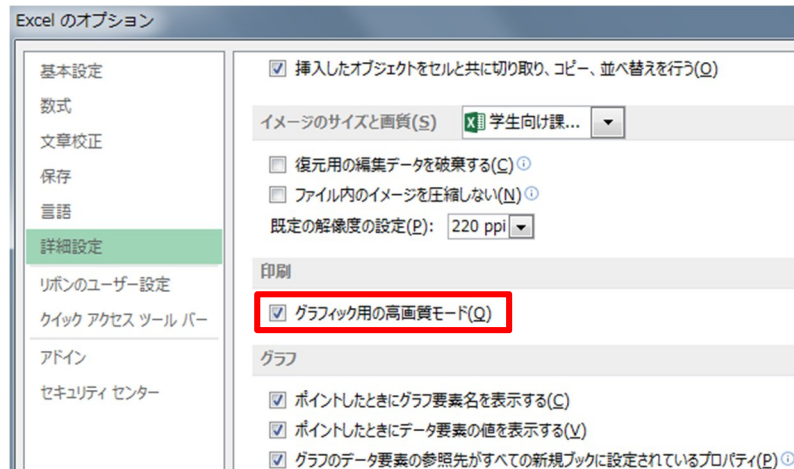
(1) Microsoft Office Wordの場合

[Wordのオプション] - [表示]を開き、「印刷オプション」の[背景の色とイメージを印刷する]にチェックします。



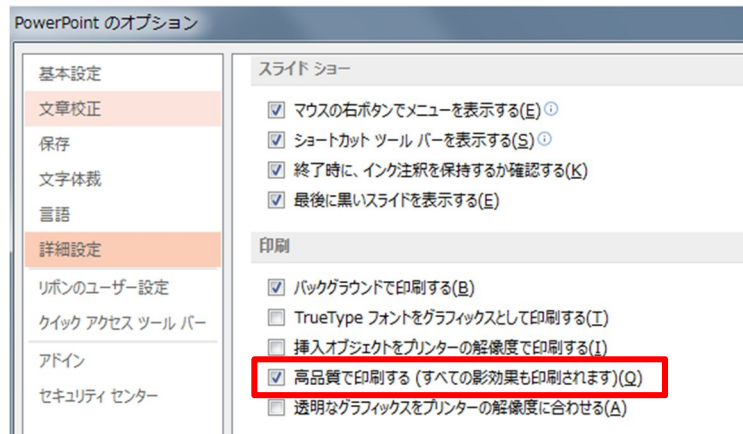
(2) Microsoft Office Excelの場合

[Excel のオプション] - [詳細設定]を開き、[印刷]の[グラフィック用の高画質モード]にチェックします。



(3) Microsoft Office PowerPointの場合

[PowerPoint のオプション] - [詳細設定]を開き、[印刷]の[高品質で印刷する]にチェックします。



19. アプリケーションの白黒印刷設定で実施した結果と、モノクロ（グレースケール）PDF の結果が異なる場合があります。

20. [ファイルへ出力]オプションを有効にして印刷を行う場合、ファイル名に「,」（半角カンマ）が含まれていると、0 バイトのファイルが生成されます。

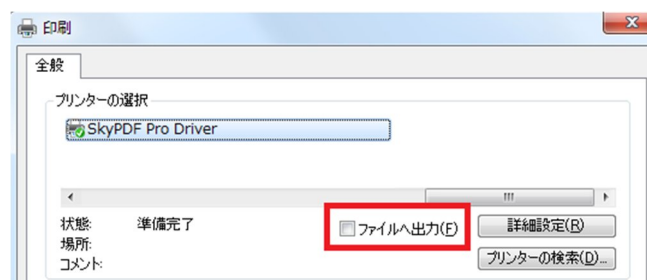
本現象は、Windows の動作上の制限事項です。（KB2819046）

Microsoft 参考 URL : <https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2819046>

[対処]

以下のいずれかを実施してください。

- a. 半角カンマをファイル名に使用したい場合は、[ファイルへ出力]オプションは使用しない



- b. 半角カンマをファイル名に使用しない

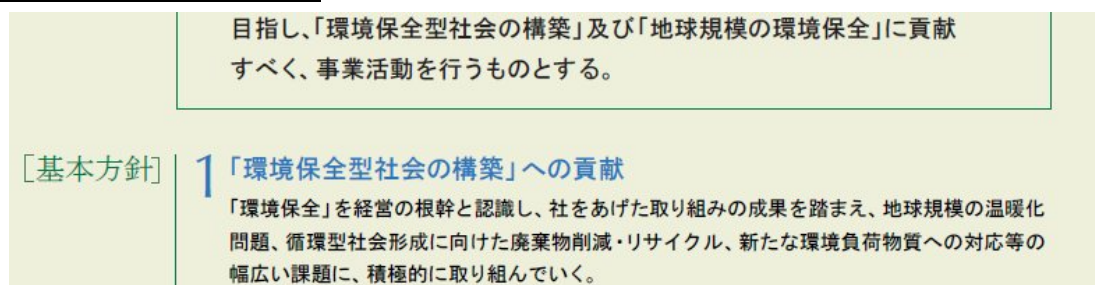
21. 縦書きの文字列に OpenType フォントを使用している場合、PDF 変換すると、文字の向きが元文書と異なる場合があります。

4.6 PDF ファイルの表示機能に関する事項

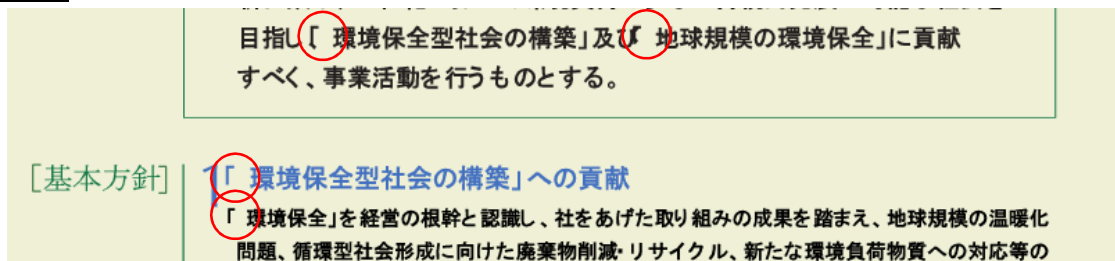
1. フォントが埋め込まれていない、特に Mac OS 上で作成された PDF ファイルの表示は、他社 PDF ファイル閲覧アプリでの表示と異なる場合があります。

PDF ファイル内で使用されているフォントがコンピューター内に存在しない場合は、指定されたフォントと近いフォントを自動選択し、代替フォントとして表示しています。そのため、他社 PDF 閲覧アプリと異なるフォントを使って表示する場合があります、文字（括弧等）の表示位置がずれることがあります。また、サロゲートペアの文字でもフォントが埋め込まれていないと、正しく表示できない場合があります。

他社のPDFファイル閲覧アプリ

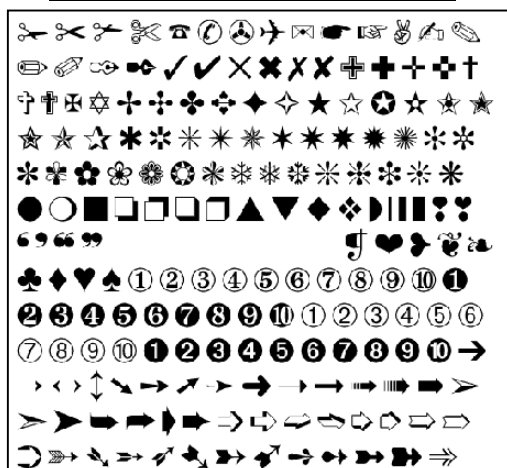


本製品

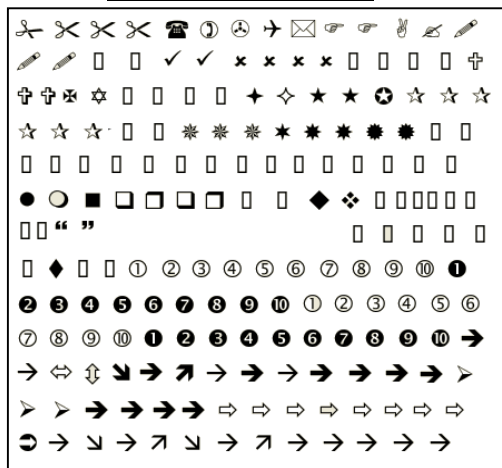


2. "ZapfDingbats"フォントは Windows 環境でサポートされていないフォントであるため、代替フォントが適用され、四角形や形の異なったグリフ（字形）が表示されます。以下の一覧を参照ください。

ZapfDingbats定義済み参考グリフ



本製品での表示グリフ



3. フォントが埋め込まれていても、DHP行書体フォントには PDF ファイルにすると右寄りで表示される文字があります。
4. スタンプ注釈の印鑑において、区切り数や文字の種類によっては、中央より少しずれた状態で表示される場合があります。
5. Adobe Acrobat で付与したフリーテキスト注釈の編集をするとスタイルが崩れる場合があります。
6. SDI モード（別ウインドウで表示）の際、同じファイルを複数開くことができます。
7. ネットワーク上など別の PC やサーバーなどにある PDF ファイルを本製品にて、且つ、ローカル PC と別の環境で同時に開いた場合、以下の現象が発生します。

ローカル PC にて編集して上書き保存をすると、ファイルが使用中のため上書き保存ができない旨のダイアログが表示され、それを閉じると、「名前を付けて保存」のダイアログが表示されます。それもキャンセルで閉じると、編集内容は残ったままの状態、上書き保存がグレースアウトし、操作できなくなります。その後、別環境で開いていた PDF を閉じて、ローカル PC 側の上書き保存はそのまま機能しません。ファイルを開きなおして編集するか、上記で「名前を付けて保存」のダイアログが表示された際に別名で保存してください。

8. 本製品はセキュリティを考慮し、JavaScript を使用したフォームには対応していません。そのため、それらのフォームのボタンや署名フィールドなどは動作しません。
9. [前の画面] / [次の画面] 機能で、前回最終表示ページについて、PDF ファイルを閉じた後の 5 ファイル前まで記憶しますが、PDF の内部仕様に文書 ID が存在しない PDF ファイル、およびそのような PDF ファイルを編集中に保存していない状態の場合この記憶ができません。
10. Internet Explorer で本製品を使用して PDF ファイルを表示した際、URL の末尾に「#page=ページ番号」を追加して指定ページを表示させる機能には対応していません。
11. ナビゲータタブの背景部分に、デスクトップ画面の一部が表示される事象が発生することがありますが、動作に影響はありません。
12. ファイル名の文字数が半角 50 文字程度の PDF ファイルを多数表示させ、ひとつずつファイルを閉じていくと、ファイル名を表示していたタブが表示されなくなる事象が発生します。

[対処]

[ウインドウ]メニューからファイルを選択するか、本製品を再起動してください。

13. Windows 10 では、Internet Explorer 上で本製品を使用して PDF ファイルを表示した際、その操作からユニバーサル Windows アプリを起動することはできません。

（例 1）既定の Web ブラウザーに「Microsoft Edge」などのユニバーサル Windows アプリが設定されている場合、Internet Explorer 上で開いた PDF ファイルの URL リンクをクリックしても、リンク先を開くことができない。

（例 2）既定のフォト ビューアーに「フォト」などのユニバーサル Windows アプリが設定されている場合、Internet Explorer 上で開いた PDF ファイルの添付イメージファイルを開こうとしても、イメージファイルを表示することができない。

[対処]

[スタート]ボタン-[設定]-[システム]-[既定のアプリ]で、ユニバーサル Windows アプリ以外を既定のアプリとして設定すると回避することができます。

14. SkyPDF 2012 Ver.5.1.0.11 以降で RMS セキュリティを付与した PDF ファイルは、SkyPDF 2012 Ver.5.1.0.10 以前および SkyPDF2016 Ver.6.0.0.0 では開くことができません。

4.7 PDF ファイルの編集機能に関する事項

1. Unicode へのマッピング情報が入っていない場合、PDF 内の一部の文字列でテキスト選択ができない場合があります。
2. サードパーティ製 PDF (GPL Ghostscript 製等) において、Unicode へのマッピング情報が入っていない場合、文字列をテキスト選択し別のアプリケーションにコピー＆ペーストすると文字化けすることがあります。
3. サロゲートペア文字のテキストコピーや検索はできません。
4. テキストを選択コピーし、別のテキストエディタに貼り付けると PDF 上の空白行が空白 + 改行として貼り付けられます。
5. Adobe Reader など他の PDF 閲覧/編集アプリで同一ファイルを開いているときは、ファイルの保存ができないため、その間行った署名や注釈などの編集内容はすべて破棄されます。他の PDF 閲覧/編集アプリで開いていないことを確認してから、PDF の編集を行ってください。
6. テキスト直接編集機能において、PDF ファイルによっては、複数行選択して削除や改行追加で残りの文字がずれる現象やテキスト直接編集の選択自体ができない場合があります。現在、一部の特定 PDF で同現象が確認されていますが、今後改善を検討しています。
7. 文書 ID が存在しない PDF を編集保存すると、以降より記憶が可能になります。SkyPDF Pro Driver で生成される PDF ではセキュリティ付、および、PDF/A 変換の場合のみ文書 ID が付与されますが、それ以外の場合、文書 ID が存在しない状態で生成されます。

4.8 印刷に関する事項

1. レンダリングモードで印刷を行う場合、データを画像変換してプリンターへ送信するため、印刷スプールサイズが大きくなります。そのため印刷に時間がかかる場合や、プリンターによっては印刷エラーになる場合があります。

[対処]

通常モードで印刷するか、印刷時の操作画面に表示されている印刷ジョブを分割する処理を実施してください。

2. 1 ライン毎に表現されているようなグラデーションやイメージを含む PDF を通常モードで印刷すると、グラデーション (イメージ) 間に線が入る場合があります。

[対処]

レンダリングモードで印刷を行ってください。

- PDF内で代替フォントが使用されており、その代替フォントが持っているグリフ幅と、PDF内に記述されているグリフ幅が異なる場合、テキストコード出力をONにして印刷すると文字間隔が崩れて印刷されます。

[対処]

テキストコード出力を OFF にして印刷を行って下さい。

- Type3 フォントが使用されている場合や、プリンターの機種によっては、マスク画像のクリッピング出力を ON にして印刷すると、印刷品質が荒くなる場合があります。

[対処]

マスク画像のクリッピング出力を OFF にして印刷を行って下さい。

- Windows 10 には、セキュリティ強化のため「信頼されていないフォントのブロック」機能が追加されました。そのため、Windows 10 で[環境設定]-[印刷設定]タブ-[テキストコード出力]を設定して印刷すると、以下のようになります。
 - 埋め込みフォントを使用したテキストはテキストコードが出力されません。そのため、印刷に仮想プリンタードライバーを使用してファイル変換などを行うと、埋め込みフォントを使用したテキストはテキストとして認識されない形で出力されます。
 - 「%windir%\Fonts」フォルダに無いローカルフォントを使用したテキストは、代替フォントで出力されます。（「%windir%\Fonts」フォルダにインストールすれば回避可能）

[対処]

Windows 10 の「信頼されていないフォントのブロック」機能を[無効]または[監視]に設定するか、「信頼されていないフォントのブロック」機能から本製品のプロセス（「SPViewer.exe」と「SkyViewPrinting.exe」）を除外すると、本現象を回避することができます。

詳細：[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dn985836\(v=vs.85\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dn985836(v=vs.85).aspx)

4.9 セキュリティ機能に関する事項

- RMS セキュリティ機能でコピー・抽出を禁止された PDF を開き、別のタブウィンドウで PDF を複数開くと、RMS セキュリティの付与されていない PDF にもプリントスクリーン機能が抑止され、RMS セキュリティの付与された PDF を終了するまで解除されません。
- RSA セキュリティ機能で 128bitAES にて添付ファイルのみの暗号化を設定された PDF においては、添付ファイルを開こうとすると警告メッセージが表示され、開くことができません。
- 署名されている PDF を開くと、文書のプロパティの“セキュリティ”タブで設定画面がグレースアウトになります。
- SkyPDF Pro Driver 印刷設定のページ設定タブで、[同名ファイルが存在した場合の設定]が[既存ファイルの後に追加する]に設定されている場合、通常、セキュリティ機能によって暗号化されている PDF ファイルに対し、暗号化されていない PDF ファイルを追加することはできません。ただし、セキュリティタブの[マスターパスワード]のチェックボックスを ON にしたまま[セキュリ

ティをかける]のチェックボックスを OFF にしている場合、直前のセキュリティの設定によっては、追加できてしまうことがあります。

4.10 表のコピーに関する事項

1. ツールバーのテキスト選択ボタンから PDF 上のテキストを選択し、右クリックで[テーブルとしてコピー]を選択し、Excel に貼り付ける場合、以下の結果となります。
 - a. Excelに貼り付ける際に[形式を選択して貼り付け]する場合、XMLスプレッドシート形式を選択するとフォントサイズが反映された形でコピーされ、Ctrl+V等で普通に貼り付けた場合、XMLスプレッドシート形式で貼り付けられます。また、貼り付ける際に[テキスト]または[Unicodeテキスト]を選択するとフォントサイズは未反映のまま貼り付けられます。
 - b. 空白セルは無視されるため、例えば、文字セル1+空白セル+文字セル2の横並びをコピーした場合、Excelに貼り付けた結果は、文字セル1+文字セル2となります。
 - c. 別セルの判断が2文字以上の空白文字で実施しているため、PDF表示のエリアとして表内の文字の末尾に2文字分以上の空白が無い場合は、Excelに貼り付けた結果が同じセル内となります。
 - d. 次の行という判断が、前の文字列の下位置という判断で実施しているため、PDF表示のエリアとして表内の文字列の位置が下に位置する文字列は、Excelに貼り付けた結果が次の行となります。

4.11 ページのトリミングに関する事項

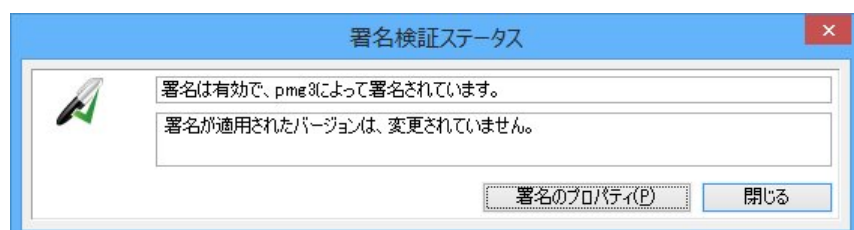
1. ページのトリミングを実施した直後、各編集操作（例：しおり、注釈付与）が正常に動作しない場合があります。ページのトリミングを実施した後は、一旦 PDF ファイルを保存してください。

4.12 署名に関する事項

1. GPKI 署名の環境設定画面内の[プロキシ設定]にて、[認証]欄の[あり（Basic 認証）]を選択した場合、Basic 認証のみ動作可能です。
2. 署名アイコン上に、署名の有効・無効を示す表示はありません。

[対処]

署名の有効・無効は、署名をクリックすると表示される「署名検証ステータス」画面で確認してください。



4.13 電子印鑑に関する事項

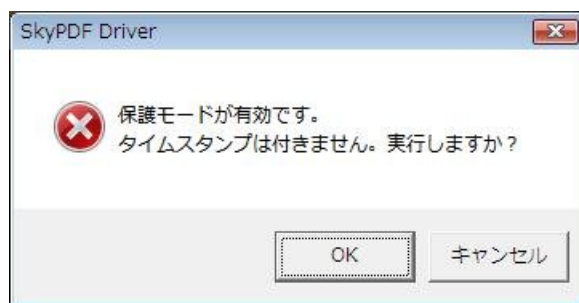
1. 電子印鑑インプレットは印刷ドライバーが対応していないため、64 ビット OS では使用できません。

4.14 タイムスタンプに関する事項

1. アマノタイムスタンプの仕様により、リビジョン 6 の 256bit AES で暗号化した PDF ファイルにアマノタイムスタンプを付与することはできません。
2. 中国語 OS では、証明書のパスに漢字が使用されているとアマノタイムスタンプにエラーで失敗します。
3. Internet Explorer のプロキシ設定においてタイムスタンプサービスがエラーになることがあります。その場合、Internet Explorer の詳細設定で“プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する”を有効にしてください。
4. Windows のプロキシ接続環境において、[コントロールパネル] - [プリンター] より SkyPDF Pro の印刷設定画面を操作した場合、プロパティ画面の「タイムスタンプ」タブのテストボタンが動作しない場合があります。その場合は Windows のログオフが必要になります。
5. 保護モードが有効な Internet Explorer で PDF を作成すると、制限ユーザー（Administrator 以外）はタイムスタンプ機能が使えません。
 - a. 制限ユーザー（Administrator 以外）で Windows にログインし、Internet Explorer を起動します。



- b. 「保護モード：有効」の場合、「印刷」ボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。



OK：タイムスタンプの付かないPDFを作成
キャンセル：PDF作成を中断

6. アマノタイムスタンプおよびアマノタイムスタンプを使用するハイブリッド署名は、Windows 10では動作保証外です。
7. RMS セキュリティが付与され、かつ、アマノタイムスタンプが付与された PDF ファイルは、タイムスタンプの検証が正しく行われません。
「指定された入力ファイルにタイムスタンプは存在しません」と表示されます。

4.15 タッチ操作機能に関する事項

1. Windows Vista では本機能を使用できません。
2. タッチポイントが3点以上での操作には対応していません。

4.16 タブレット端末での表示に関する事項

1. 本製品で PDF ファイルを全画面表示（メニュー：[表示]-[全画面表示]）している場合、画面の自動回転機能をロックせずに端末を回転させても、PDF ファイルの向きは回転しません。

4.17 変換ユーティリティに関する事項

1. 変換ユーティリティで以下の条件に該当する Excel ファイルの PDF 変換を行う場合、「保存先を指定する」にチェックが付いていなくても、「PDF ファイルに名前をつけて保存」ダイアログが表示される場合があります。

[条件]

過去に SkyPDF Driver で「保存先を指定する」にチェックを付けて PDF 変換を行った後、保存した Excel ファイル

[対処]

Excel ファイルを、SkyPDF Driver 以外のプリンターを選択した状態で保存し直して下さい。

2. PDF の種類によっては、結合・分割を受け付けない場合があります。
 - a. SkyPDF製以外の他社製PDFでPDF規格に違反して作成されているもの
受け付けられない場合、次のメッセージのいずれかが表示されます。
「PDFオブジェクトの読み込みに失敗しました。」

「Trailer辞書の読み込みに失敗しました。」

「PDFファイルの読み込みに失敗しました。」

- b. セキュリティ付き（パスワード等）、署名やタイムスタンプ付きのPDF

3. 一括 PDF 出力タブにおいて、

- a. Justsystem一太郎ファイルが複数シートにて構成されている場合、アクティブシートのみ PDF生成されます。
- b. Microsoft Office Excelファイルが複数シートにて構成されている場合、変換ユーティリティにおいては、「**ブック全体**」印刷されます。その時、各シートの「印刷品質」の値（dpi）を揃えていない場合（空白を含む）は途中シートから最後（一番右）のシートのみの生成になる場合があります。

Microsoft Office Excelのブック全体印刷を行う場合

シートごとに、「ページレイアウト」タブの右下の矢印ボタンを押し、[ページ]タブの[印刷品質]の数値を統一してください。



- ※ この設定後、「変換ユーティリティ」の「一括PDF出力」で、ブック全体印刷が可能になります。上記dpi値を操作すると、多少ページのレイアウトが変化するため、「表示」タブの「改ページプレビュー」等で微調整を行ってください。

4. Microsoft Office 2016 がインストールされた環境で、変換ユーティリティの[一括 PDF 出力]タブー[ファイル選択]を使用すると、アプリケーションエラーが発生する場合があります。

[対処]

アプリケーションエラーが発生する場合は、一括ファイル指定枠内にドラッグアンドドロップする形でファイルを追加するか、[フォルダ指定]を使用して出力してください。



SkyPDF Viewer / Standard / Professional 2016
ユーザーマニュアル（0.はじめにお読みください）

第2版 2016年3月31日 発行